

ひとはくのイノベーション・プロジェクト

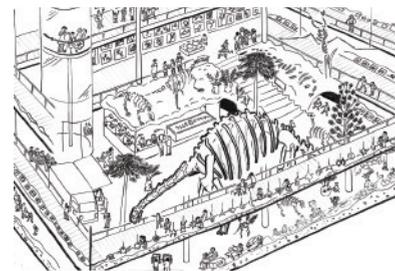
－ 展示空間の改修と資料収蔵・演習空間の更なるイノベーションを推進する

本プロジェクトでは、ひとはくの研究と生涯学習の機能を強化して、あらゆるレベルやカテゴリーの来館者が世界レベルの収蔵コレクションや資料・情報などにアクセスすることができ、さらに、最新の研究機器を使った調査・研究も体験することができる場とするために、展示の部分改修などに取り組むとともに、当館の施設や設備のイノベーション計画の検討を行っています。

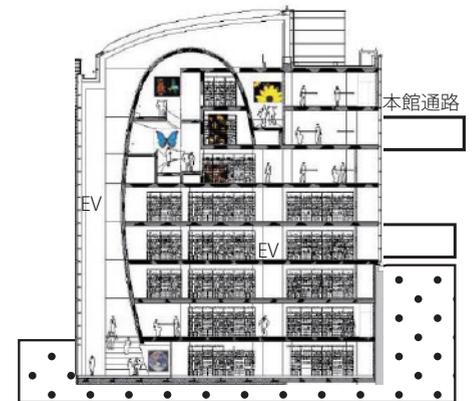
自然や生物多様性への市民の理解を深めることは、科学だけでなく、地域活性化や経済活動、文化活動にまで及ぶ現在の緊急の課題となっています。博物館の研究と生涯学習機能は、まさに、この課題解決の中心的な役割を果たすべきものです。とくに、「人と自然の共生」を博物館のミッションとしている当館にとっては、最も重要な使命といえます。しかし、20年以上更新されていない当館の展示情報や研究設備、施設では、この重要なミッションを

果たせない部分が多くなってきました。この数十年の科学・技術の革新には目覚ましいものがあり、さらに、生涯学習に対するニーズも大きく変革し、能動的に博物館に収蔵された資料や情報を活用した学びや、より本格的な研究活動に取り組みたい市民が増えています。この進歩や多様なニーズに答えて行くために、当館に蓄積された標本や資料、情報を県民へのアクセシビリティが高い形式で収蔵する「魅せる収蔵庫」や、より深く学びたい県民が

CT-スキャンなどの最新研究機器を活用して能動的に学ぶことができるオープン・ラボなどの検討を進めています。



展示改修案の検討



魅せる収蔵庫の検討



展示の小部分改修の実施

4F ひとはくサロン
2F 魅せる収蔵庫
トライアル
1F グローバル
ビジョン



標本管理イノベーション Showcase



海外博物館の先進事例の収集と検討



プロジェクト名 ひとはくのイノベーション・プロジェクト（新館・改修 FT）

代表者：橋本佳明

分担者：三橋弘宗 池田忠広